

ちから つながる力、ひらく未来 みらい

— 佐賀県を共感のジャングルに —

アバンセ1F ホール

佐賀市天神3丁目2-11

申し込みフォーム 申込期限：3月11日(水)



オンライン
配信あり

今、“孤独”や“孤立”を感じる人が増えています。しかし、人間はもともと互いの弱さを認め、共感し、支え合うことで進化を遂げてきた“つながり”の中に生きる存在です。

佐賀県は令和7年12月【佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム】を立ち上げました。誰もが声を上げやすく、誰一人取り残さない温かな佐賀の未来を、ここからともに描き始めましょう。

2026 **3.21** 土 **13:30-16:30**

第1部 13:50-15:00

基調講演

人類の進化に学ぶ 孤独と孤立の処方箋

山極 壽一 氏

Yamagiwa Juichi

総合地球環境学研究所 所長

第2部 15:10-16:30



活動報告



トークセッション



孤独・孤立対策への取組について / 佐賀県

主催

佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム



山極 壽一 氏

総合地球環境学研究所所長

1952年東京都生まれ。理学博士。2020年まで第26代京都大学総長。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。2025年国際博覧会（大阪・関西万博）シニアアドバイザー。南方熊楠賞、アカデミア賞受賞。『スマホを捨てたい子どもたち-野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』『共感革命-社交する人類の進化と未来』『森の声、ゴリラの目-人類の本質を未来につなぐ』『老いの思考法』『ゴリラの森で考える』など著書多数。



スケジュール

■開催日時

令和8年3月21日（土）13:30～16:30
（開場 13:00）

■会場

アバンセ ホール（佐賀市天神3丁目2-11）

■参加費

無料

■対象

どなたでも

■定員

会場 300名 + オンライン参加

※アーカイブ（録画）配信は行いませんので、あらかじめご了承ください

■申込方法

会場参加・オンライン参加とも
申込フォームからお申し込みください

▼申し込みフォーム▶

<https://logoform.jp/form/jbBd/1424493>

■一時託児

無料（要申込・3月11日（水）まで）
※生後6ヶ月から就学前まで



- **13:00-13:30**
パネル展示・各団体スタッフとの交流タイム
- **13:30-13:50**
開会・主催者挨拶
- **13:50-15:00**
基調講演
総合地球環境学研究所所長 山極 壽一 氏
- **15:10-16:30**
活動報告・トークセッション・質問タイム
コメンテーター/総合地球環境学研究所所長 山極 壽一 氏
モデレーター/認定NPO法人スチューデント・サポート・フェイス 代表 谷口仁史氏
報告者 /NPO法人poco a bocca理事長 寺野 幸子 氏
社会福祉法人太良町社会福祉協議会 事務局長 中村 秀貴 氏
武雄市福祉課副主幹 坂口 貴生 氏
- **16:30**
閉会
佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム世話人の会座長 西九州大学健康福祉学部学部長 黒田 研二 氏
- **16:30-17:00**
パネル展示・各団体スタッフとの交流タイム



ワンポイント 孤独・孤立とはどのような状態？

孤独 主観的概念であり、ひとりぼっちと感じる精神的な状態を指し、寂しいことという感情を含めて用いられることがある

孤立 客観的概念であり、社会とのつながりや助けのない又は少ない状態を指す

孤独と孤立は密接に結びついています、

孤立しているが孤独は感じていない

孤立していないが孤独を感じている

ということもあり得ます。

大事な点は、一人でいても、つながっても良いということ。

「一人でいること」自体が問題ではなく、悩みや困りごとが生じた際に一人で抱え込んでしまうことで、複雑化・深刻化するのが問題であるということです。

内閣府孤独・孤立対策推進室 つながりサポーター養成講座標準テキストより抜粋

問い合わせ

佐賀県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム共同事務局（佐賀県健康福祉部社会福祉課）

☎ **0952-25-7053** ✉ syakai-fukushi@pref.saga.lg.jp